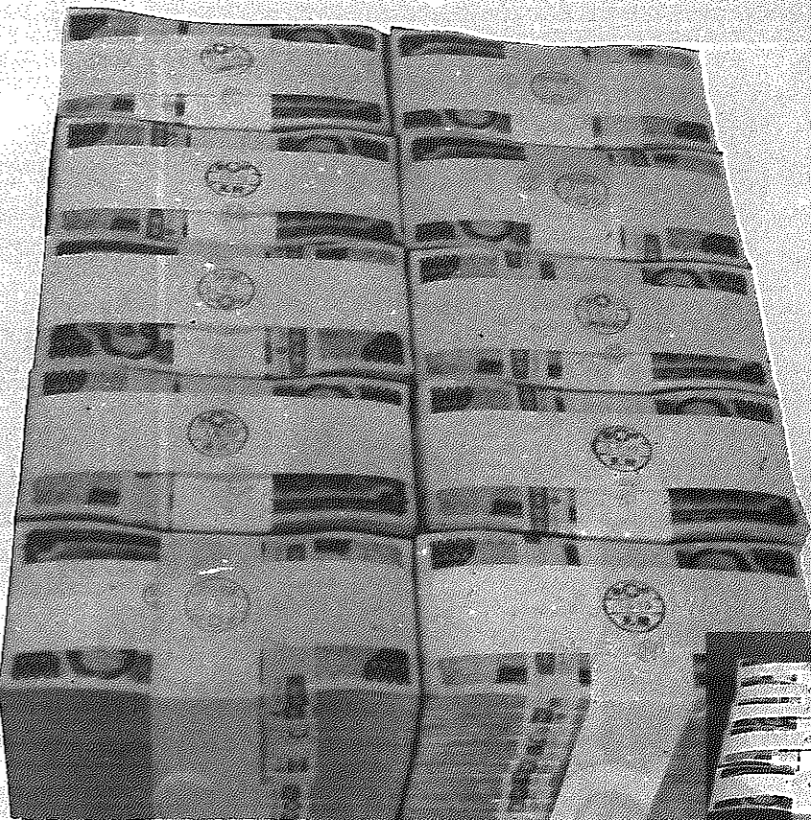


ふるさと創生

「ふるさと創生」事業（自ら考え自ら行う地域づくり事業）は、アイデアのオリンピックともいわれています。全国三千二百の地方自治体が一律一億円の配分を受け、同じ条件下で「ふるさと創生」を競い合うわけです。

そこで、本市では市民から一億円の使い方についてアイデアを募集したところ、八十一件のアイデアが寄せられました。現実的なもの、ユニークなもの、夢を与えてくれるものなど、いろいろなアイデアがあります。今月号では、応募アイデアを全部紹介します。応募してくださった皆さん、たいへんありがとうございました。

応募アイデアを全紹介



これが現金 1億円

(取材協力 第四銀行白根支店)

産業振興

17件

(農業)

- 農産加工施設と販売所(直売所)の建設 (関連アイデアを含め五件)
付加価値を高めるため農産加工施設を建設し、特産農産物とともに販売(直売)する。
- コシヒカリの基地PR
全国に白根コシヒカ리를PRする。
- 農産物の長期保存方法の改善による経済活性化
農産物の長期保存方法を確立して、通年流通を可能にし、「白根ブランド」を作り上げる。

(観光)

- 通年観光果樹園「フルーツ王国(タウン)」の建設(整備)(関連アイデアを含め三件)
日本を始め世界中の果実を栽培し、宿泊施設やスポーツ施設などもある通年観光レジャー農園を造る。観光物産館、大風資料館なども整備し一大観光エリアを整備する。
- 観光物産館の整備
大風資料館を併設し、観光ルートに組み入れられるような施設の建設。
- 市民総参加の祭りの開催
秋の土・日曜日、観光客(民泊)

と大風を揚げたり、特産物の即売、海外旅行を賞品としたクイズなどの祭りを開催する。

● 世界の風祭りの開催

風合戦の国際化を図り、海外からの参加者を招き風合戦を行う。海外参加者のホームステイや市民交流も計画する。

● ノミの市の開催

風合戦期間中に開催。

● ミス白根の募集

ミス白根を募集し、大都市へ風合戦の観光キャラバン隊を編成し観光宣伝する。

● フルーツフェスティバルの開催

毎年秋に味覚を光り出す種々のイベントを開催し、県内外から観光客を呼び込む一大観光事業とする。

● 子ども風合戦の独立開催

子どもの日をメインに五月四日～五日に開催。全地区の子どものちから参加してもらい、各種イベントを開催。

生活・都市環境整備

22件

(生活)

- 街灯の設置
市民一人ひとりが安心して生活できるように街灯を数多く設置する。
- 常設水洗トイレの新設
風合戦などの観光客や市民の利便のため常設水洗トイレを新設し、

壁面に風の絵とか花などを描く。

● 歩道(都市下水道)の整備

凹凸のない歩道にする。

(都市)

● サイクリングロードの建設(関連アイデアを含め三件)

白根市一周ふるさとロード、大通川下流堤防ロード、中ノ口・信濃川堤防ロードなどサイクリングコースを建設(整備)。

● 親水ゾーン、河川公園の整備(関連アイデアを含め四件)

用水路を利用した散歩道・親水ゾーンの整備。中ノ口川、信濃川河川敷を利用した公園整備、親水ゾーンの設置。

● 大通へら公園の整備

市営管理釣り場として、周辺道路、駐車場、桟橋などを整備する。

● 檜ノ木桜遊園の総合整備

桜並木の拡張と手入れ、中ノ口川、信濃川、大通川河岸の釣り場の手入れ、車道と散策道路、ボートレースコースの建設など。

● 人工の山を作る(関連アイデアを含め二件)

市民参加か第三セクターによる築山を行い市のシンボル、観光拠点とする。

● 公園の整備(関連アイデアを含め二件)

屋根付き休憩所の建設、噴水の設置。

● ふるさと園路の整備

カルチャーパーク正面からカル

▼ アイデア募集の目的

国では、全国各地で地域づくりの機運が高まっていることから「地方が知恵を出し、中央が支援する」というこれまでと違った発想で、「ふるさと創生」事業を実施。昭和六十三年度と平成元年度の二か年にわたり合計一億円を、全国の市町村に一律配分します。

このため、市では住民参加の下に、地域の知恵と情報を集め、歴史、伝統、文化、産業などを生かした独創的で魅力的な地域づくりを目指し、広報紙を通じてアイデアを募集しました。

▼ 募集状況

(1) 応募期間

平成元年3月15日～4月20日

(2) 応募件数 36人(組) 81作品

年齢・性別内訳

単位：人・組

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	1	—	3	9	5	2	20
女	—	—	4	2	2	—	8
小計	1	—	7	11	7	2	28
グループ	婦人…4 職場…1 青年団体…1 その他…1						7
不明							1
合計							36